

ハイブリッドにも“大人”を効かせる チューナーズルックのNEW FACE



COVER CAR of THIS MONTH

ランドブラックエディション/エスティマハイブリッド(20系前期)

乱人Black Edition ESTIMA HYBRID

問:エアロテックジャパン ☎072-838-7744 <http://www.aero-tech.co.jp>

今月号の表紙を飾ったのは、エアロテックジャパンが手掛けたエスティマハイブリッド。プリウスやインサイトのおかげで盛り上がるハイブリッド車トレスアップだが、エアロテックジャパンは「ハイブリッド車にエアロパーツを」というコンセプトではなく、エアロパーツのベース車選びの延長線上にハイブリッド車があったということだそう。つまり、意識的にハイブリッド車を選択したのでなく、エアロパーツを装着したらカッコいいのでは? と従来のベース車を選ぶのと何ら変わらないスタンスでパーツを開発したそう。

そんなエスティマハイブリッドは、20プリウスに続く第2弾として乱人ブラックエディションからの登場だ。目指したのは大人のチューナーズルック。確かにダクトやディフューザーが与えられ、今もつと匂なチューナーズフォルムを具現化しているが、これでもかと見せつけるような威圧感はない。大人っぽい上品さをしっかりとキープしたままのチューナーズルックと言えよう。

エアロパーツの細部を見ていくと、全体のイメージを一新すべく、エアロはバンタイプを採用。ノーマルの物足りなさを補うワイド&ローを主張できるデザインを採用している。専用フォグを設定することで、フェイスまわりのイメージもノーマルとは全くちがう雰囲気だ。この装着感の高さが魅力だが、エアロは純正比でフロントが+15ミリ、高さ10ミリ、リアが±0ミリ、高さ5ミリとほぼノーマルと同サイズ。誰もが気張らずに乗りこなせるよう配慮された作りだ。

乱人ブラックエディションは今後さらに展開を広がっていくようで、30系プリウス、50系エスティマと現在開発中だ。